

令和7年6月9日

令和7年6月池田町議会定例会 町長あいさつ

池田町長 矢口 稔

6月定例会の開会に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

6月議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には大変お忙しい中、御出席をいただき、御礼を申し上げます。

ようやく梅雨入り間近と言われており、町内各地ではカモミールやラベンダーが咲き誇る季節を迎えました。

昨今のニュースでは、米価の高騰及び備蓄米について大きく取り上げられております。私たちの町においても、水稻は重要な基幹産業であり、農業を支える皆様への支援を含め、農業政策の重要性を再認識しているところであります。今後の米価の動向を注視しつつ、農業振興にしっかりと取り組んでまいります。

また、物価高騰対策につきましては、本日6月9日よりプレミアム商品券「生き活き池田スマイルクーポン「イケスマ2025」」の販売を開始いたしました。2,000円で7,000円分の商品券を販売いたします。プレミアム率は250%で、町内の各取扱店で御利用いただけます。

今後も物価高騰対策については、国の支援を受けながら、より効果的な方法で町民の皆様が暮らしやすい施策を検討してまいります。

次に、子育て支援や人口減少対策について申し上げます。

人口減少対策スローガン「ただいま★いけだまち」を1月に制定し、そのスローガンを身近に感じていただき、子育てしやすく、移住された方も安心して暮らせる町づくりを目指して、要綱等の改正や制度の見直しを迅速に進めてまいります。

具体的な子育て支援については、今回の補正予算でも計上し、8月より18歳以下の子供の医療費の完全無償化を予定しております。

また、旧会染保育園の民間運営事業者が決定し、来年4月の開園に向けて準備を進めております。

この4月に開設したこども家庭センターにこまるは、利用者の方々から好評をいただき、順調に運営をされております。新しい企画を含めて、子育てを楽しめる環境をこれからも整えてまいります。

人口減少対策の一環として、移住・定住関係について申し上げます。

できるだけ費用を抑えながら移住・定住施策を進めてまいりますが、この10月1日より大きく3つの施策について、利用しやすい環境に要綱等を見直してまいります。

1つ目は、空家解体撤去事業補助金の一部拡充についてあります。解体工事終了後、その土地に集合住宅を建設した場合、1棟につき100万円の補助金が加算されるものです。

2つ目は、空き家バンク活用事業補助金で、空き家バンクの対象物件の拡大と申請時期の柔軟化を実施をいたします。

3つ目は、下水道接続時の負担軽減です。従来より、新規に下水道を利用するためには負担金を一般家庭では50万円を頂いておりますが、今回、本管取り出し工事部分については、町負担で実施する改正を行います。住宅を新築される方などを含め、大きな負担軽減が図れるものと思います。

いずれの施策も本年10月1日からの施行を予定しております。

今後も、暮らしやすく、住み続けたくなる施策を打ち出してまいります。施策の導入に当たり、議会の皆様の御意見をいただきながら丁寧な説明を心がけてまいります。

最後に、財政状況について触れさせていただきます。

本定例会では、令和6年度の一般会計補正予算の最終専決の承認議案を予定しておりますが、各種基金への積立てとして、公共施設等整理基金に2億900万円、減債基金に5,000万円を積み増し、合計で2億5,900万円を追加することができました。基金合計は、令和7年5月末現在、29億4,100万円余りとなっております。引き続き、歳出の削減と歳入の増加を目指し、安定した財政運営を行ってまいります。

今議会に提案いたします議案は、報告、承認案件 12 件、条例改正案件 2 件、財産案件 1 件、補正予算案 3 件の合計 18 件です。提案した議案については十分に御審議いただき、御決定いただきますようお願いを申し上げます。

以上をもちまして、開会のあいさつとさせていただきます。